



## 中国国営テレビ局と契約 テレビ通販参入

サイバードグループで、オリジナル化粧品ブランド「MACCHIA Lb.」の通信販売、通信販売支援事業を手掛けるJIMOSは8月14日から、中国でのテレビショッピング事業に参入した。

JIMOSは中国の国営テレビ局である中国中央電視台（CCTV）と契約を締結し、CCTVのテレビ通販子会社であるCCTVSでのテレビショッピング事業に参入。日本の化粧品を扱う企業としては初の参入となる。

同時に、中国へテレビショッピングやECで進出したい企業への新規素材の参入サポートも拡大し、中国市場での事業拡大を狙う。



## デジタルサイネージ事業 丸紅から譲渡

オックスプランニングは8月23日、デジタルサイネージ市場向けのクラウド型映像配信システム「Instvision」事業を丸紅から譲受したと発表した。オックスプランニングでは2004年に屋外用大型LEDビジョン「Vegas Vision」の販売を開始し、デジタルサイネージ事業を展開してきた。丸紅から事業を譲り受けることにより、業態や施設規模、映像機器の種別を選ばずに幅広くデジタルサイネージの設置から運用までの対応が可能となった。

またクラウドタイプであることを印象付けるため、商品名を「クラウドエッジ」(商標登録申請中)と改め、販売を開始した。



## スマホ検索連動広告 競合との比較分析アプリ

サイバーエージェントは8月18日、検索連動型広告における競合企業の出稿状況との比較・分析が可能なアプリケーション「Competitor Manager」において、新たにスマートフォン検索連動型広告に対応した「Competitor Manager sp」の提供を開始した。

「Competitor Manager sp」は、スマートフォン検索連動型広告において競合企業の出稿キーワード数や広告数との比較検証、クリックシェアや表示順位などの分析ができるアプリケーション。今回のサービス提供により、PC・モバイルの検索連動型広告に加え、スマートフォン検索連動型広告でも同様に競合企業の出稿状況を把握し、自社の戦略立案や効果改善に活かすことが可能となった。



## 映像配信で販促 ソーシャルコマース

トライステージは8月18日、クロスメディア展開の一環として、ソーシャルコマースメディア「ナマコマ」を立ち上げると発表した。同社が創業当時から蓄積してきた「映像でモノを売る」という知見を活かして開発されたもの。

「ナマコマ」とは、「生配信」+「コマース」を意味し、インターネット上で通販番組のライブ配信を実施し、商品あるいはサービスの販売を行う。同時に、ライブ配信中にソーシャルメディアを通じて情報を広げることで集客を行う。さらには、消費者の声をライブ配信の内容に反映させることによる、双方向のコミュニケーションを行うことができる。ネットユーザー世代である20代から30代の利用を見込む。